

<p>投稿年月日</p>	<p>平成 23 年 6 月 21 日</p>	<p>投稿者</p>	<p>市内在住 女性</p>
<p>ご意見・ご提案 内 容</p>	<p>西有家町本所に置いてある「みそ五郎さん」。これは一応観光PRではないでしょうか。でも現状は着たきり雀ではないですが、私が思うに、四季を通して衣替えしてみてもいいのではないでしょうか。</p> <p>そして、後継ぎがないことで土地は荒地になってしまっています。荒地を市が取り組んで、少しずつでも畑や田に近づけていくなり、市が会社を立ち上げ、第三セクターではないですが、そういうものをつくることによって、職につける人が増えて、若者が市に残ってよかったと思えるまちづくりなり、市の行政なりしてはと思います。</p> <p>長い目でみて、この先10年のことを考えてみてください。</p>		
<p>回 答</p>	<p>貴重なご提案をいただきまして有り難うございます。</p> <p>このみそ五郎像については、毎年11月に開催されるみそ五郎まつりにおいて、町おこしのシンボルとして活用しているものであります。年に一度、まつり前に新調したふんどしを着替え、ハンテンを着てまつりの山車で登場しています。そのまつりが終わると、保管場所である市役所の裏側の倉庫屋根に上げております。まつりで着ていたハンテンは脱がせてクリーニングに出しております。みそ五郎像が置かれている場所につきましては、国道沿いで一番目立つところであり、南島原市のランドマークや観光PRの一翼を担っていることは確かであると思います。そのみそ五郎さんの衣替えをしてはというご提案については、経費的な面を考えますと大変厳しいものかと思えます。それは、みそ五郎さんが大きいため生地が多量に必要であることと、オーダーメイドにより安い金額ではできないこと。また、雨ざらし日ざらしの状況下においては4半期毎の衣装交換では足りないことが考えられます。夏場においては1カ月程で衣装は色あせていくものと考えられます。年間数十万円、10年間では数百万円の経費が必要になるかと思えます。</p> <p>以上の理由により、今回の提案につきましては誠に申し訳ありませんがご要望に添うことができません。</p> <p>耕作放棄地が発生する要因としましては高齢化や担い手不足等がありますが、本市の最大の要因は急傾斜地が多い地形的条件にあります。この急傾斜（中山間地）の耕作放棄地化を防ぐため、中山間地域等直接払交付金という国の制度があります。この制度を活用し、耕作放棄地の防止を図っています。平成22年度は市内で81集落が486haの農業生産活動維持に取り組んでいます。</p> <p>しかしながら、この制度だけでは耕作放棄地化を防止することはできません。</p> <p>そこで、耕作放棄地の所有者に対して、営農計画を聴取し、貸したい意向のある農地を借受希望の認定農業者等にあっせんし、解消を図</p>		

	<p>っていきます。</p> <p>具体的には、放棄された農地を安易に再生利用できるよう、国・県・市が一体となって、解消に取り組む認定農業者等に費用（補助金）を助成しています。</p> <p>なお、市が第三セクターで会社を立ち上げて解消したらどうかのご提案ですが、農地利用方法等、クリアすべき問題も多く、貴重なご意見として承っておきます。</p> <p>この度は、貴殿から本市に対しまして貴重なご提案を頂きまして誠に感謝しております。今後も引き続き本市の地域振興のために関心をもっていただくとともに、ご提案をいただければと思います。</p>
担当課	企画振興部 企画振興課 ・ 農林水産部 農林課